

松原ファミリーニュース

住民参加のデイサービスをとおして地域福祉の拠点づくりを



発行

NPO 法人 介護支援の会松原ファミリー

代表理事 豊永 雅雄

〒580-0031 松原市天美北6-446-5

TEL 072-332-3120

FAX 072-332-3186

Eメール npo@matsubara-family.org

URL <http://www.matsubara-family.org>



フェイスブック 介護支援の会松原ファミリー

検索



◆介護保険指定通所介護施設 デイハウス松原「ファミリー」

認知症の人の「はたらく」のススメ！

新型コロナウイルス感染症の脅威が続き、あまり楽しいニュースに出会えない毎日ですが、昨年の秋に認知症の人の「はたらく」ニュースを見つけました。朝日新聞に此花区の特別養護老人ホームの認知症の入所者が働くキッチンカーの活動が大きく紹介されました。コロナ禍の中で少し気分が明るくなりました。

2月24日には「ひと」の欄に「Instagramで発信する若年性認知症の当事者」というタイトルで、下坂敦さん（48歳）が紹介されました。「認知症になったら何もできないというイメージを変えたい」と日常の風景をInstagramで発信しているそうです。彼は46歳で若年性認知症と診断され、元の職場（鮮魚店）を退職しています。その後デイサービスの施設長のススメで介護スタッフとしてアルバイトを始め、現在は正職員として働いています。利用者の名前を忘れることもあるようですが、写真撮影など得意分野を生かしているそうです。認知症の人が活躍しているニュースに元気をもらいました。



厚生労働省は若年性認知症の人を中心としてデイサービス利用中の認知症の人が働く（有償ボランティア）ことを2011（平成23）年頃から進めています。が、順調に進んでいるとはいいい難く、2018（平成30）年7月には介護サービス事業所における地域での社会参加活動の実施について考え方を示しています。

また、厚生労働省のWebページに「認知症の人の「はたらく」のススメ」（平成29年老人保健健康増進等事業成果物）を掲載し、各地でのさまざまな取り組みを紹介しています。その中のひとつ、東京町田市のデイサービス「DAYS BLG!」の活動はテレビや新聞等でも取り上げられており、ご存じの方も多いと思います。デイサービスの利用者がホンダ販売店の展示車の洗車やチラシのポスティングなどを行い収入を得ています。創設者の前田隆行氏は2019年には「100BLGプロジェクト」をスタートさせ、全国に100か所のBLGを創ろうと発信を続けています。



これまで認知症の人への支援は認知症の人を「守る」ことに主眼が置かれていました。

39歳で若年性認知症を発症したあとも、はたらき続けている丹野智文さんは著書の中で、日本の認知症支援について「ストレスをなくす」「不安をなくす」「守る＝なんでもやってあげる」と説明しています。「守られることで機能の低下を招く」と。家族や介護関係者に守ろうとする姿勢が強すぎると、本人が働きたいとか、役に立ちたいというニーズがあるということも気がつかないと思います。介護保険の理念の「自立支援」に立ち戻る、スコットランドのように「自立する手助けをする」という意識の転換が必要です。2022年度から高齢者の生きがい就労事業のひとつとして、認知症の人の就労支援を始める自治体があります。就労支援コーディネーターが民間企業とのマッチングを担い、個人の特性や希望にあった生きがい就労をコーディネートする取り組みです。今後の取り組みを期待したいと思います。



現在は認知症の人が働くことがニュースになりますが、近い将来、認知症の人が働くことが当たり前になり、診断後の離職防止や就労支援が進むことを期待しています。

デイハウス松原「ファミリー」でも一時期、プログラムとして内職作業を行っていました。「仕事に行く」と目的をもってファミリーに通所される人もいたと聞いています。「はたらくデイサービス」プログラムが復活するニュースを楽しみに待ちたいと思います。

【参考 Web サイト】https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000167700_00002.html

NPO 法人 介護支援の会松原ファミリー 理事
佐瀬 美恵子



コロナを乗り越え 新たな希望へ

昨年4月、当事業所に起きた嵐のような新型コロナウイルス感染症クラスター発生から、一年が過ぎました。当時のデルタ株からオミクロン株に置き換わった今も、依然その脅威は収まっていません。この間、当事業所において、新たなクラスターが起きなかったのは幸いでした。しかし、感染を疑われるケースと実際に感染したケースが、今年1月に急拡大を始めた第6波の中で何度か発生しました。陽性者発生時の対応は、以下の通りです。

- ① スタッフ感染→1/18～1/23 5日間休業
- ② スタッフ感染→2/8 に陽性判明も運営に影響なしと判断し運営継続
- ③ ご利用者感染→2/27～3/6 8日間休業

これらの対応は、当事業所の感染対策委員会（昨年 7/15 発足）でこれまでに決定してきた各種方針にのっとり、慎重に状況判断した上でのものです。

優先されることは、何より大事な我々の「命」を守ることです。時に厳しい判断をし、休業したことは運営的には大きな損失ですが、「命」の重さには代えられません。

この間は、当事業のスタッフとご利用者、利用者ご家族、関係事業所の多大なご協力も得ながらの運営でした。厳しい感染対策への理解と継続が無ければ、今の松原ファミリーはありません。

そしてこれからは、刻々と変化しつつある状況を正確に捉えつつ、コロナを乗り越え、新たな希望へ繋げていく必要があります。コロナワクチンの3回目の接種が急ピッチで進む中、飲み薬等での治療対応も始まってきており、対コロナに対する環境や対策には、希望の光が見えてきています。

私たちは、依然感染対策を緩めることなく歩んでいかねばなりません。しかし、その中でも、感染対策的には、国や自治体の新たな基準を感染防止の指針に加え、修正しつつ、安全かつ自信を持って判断し、運営にあたっていきたいと思っています。

ぜひ、私たち松原ファミリーを、これからも温かく見守り、応援していただけますようお願い申し上げます。

NPO 法人 介護支援の会松原ファミリー
 代表理事 豊永 雅雄
 デイハウス松原「ファミリー」
 管理者 林 祐二



連続
コラム

35

介護者につきまとうのは どうしたらいいの？

家族の姿が見えなくなると心配して探し、つきまわってついてくる。認知症の方のこの症状を「シャドーイング」と言います。家族や、介護者にとっては、仕事や時間を拘束されるので煩わしく、ついでになってしまうかもしれません。これは、認知症の方の「次にどうしたら良いのかわからない」という不安を解消するための行動と言えます。記憶のあいまいさや見当識障害も関係していますが、目標を決め、計画を立て、順序を立てて実行する、遂行（実行）機能障害と言えますが、人によって症状が重くなってくると目標・計画・実行のうち出来ないところが違ってきます。 M. T

介護者につきまわって離れないときは？

1. 次にやるべきことを教えてあげる。
2. 今できることをしてもらう（得意なこと・・・折り紙や、小さなごみ箱づくり）
3. 普段の生活の中で、どの部分ができないのか？困っているのはどこなのかを探っていく、対応を主治医やサービスを利用している事業所のスタッフと相談することをお勧めします。



ファミリー通信



ファミリーでは、皆さんと一緒に歌を歌う時間があり、『歌の時間』を楽しみに来られているご利用者がたくさんいらっしゃいました。新型コロナ感染症予防のため歌うのを控えており、『歌の時間』は新しいレクリエーションで楽しんでいます。午前中は脳トレなど頭を使っていただき、午後の機能訓練の後は、からだを動かすレクリエーション、帰宅前の時間には坊主めくりやスゴロクなど、全員が楽しめるゲームをしています。

新しいゲームや楽しい企画を考えて、「また来たい」と思ってもらえるようなデイにしていきたいと日々努力しています。 Y. K

**スタッフ一同
頑張っています!**



レクリエーション



おじゃみ投げ

足でおじゃみ投げをしました。

足の甲に取り付けた紙皿におじゃみを乗せて、前へ蹴り出すゲームです。

機能訓練でウォーミングアップもバッチリ。これは楽勝かと思いきや、ポトッと目の前に落ちたり、なぜか後ろへ飛んでいくおじゃみ。意外な行方にご本人も見ている方も大笑いです。

そしてご自分の番が済むと、「惜しい、もうちょっと!」「おー、すごい」と熱心に応援に回って下さいます。

そんな賑わいが静養室にも届き、「楽しそう! 私もやりたいわ」とベッド休息を終えたTさんが参加されました。おじゃみはしっかり前へ飛び、スタッフが手で投げ返したおじゃみも見事、紙皿でキャッチされて、大きな拍手がおこります。皆さんの積極的なお姿と笑い声で、活気溢れるデイルームでした。 K. O



レクリエーション2級講座を受講して

コロナ禍でもご利用者が楽しめるレクリエーションを学ぶために、レクリエーション2級講座を受講しました。

号令に合わせて体を動かす運動ではなく、楽しい音楽に合わせて体を動かした方がリーダーもご利用者も楽しく運動ができることや、ちょっとした声かけの工夫で、「頑張るぞー!」とやる気持ちになることなど学び、連想ゲームや体操など、楽しいレクリエーションを教してもらいました。

講習では、グループに分かれ意見を出し合い、レクリエーション企画書案を話し合いました。ひとりだと思いつかないものですが、みんなで話し合う事で、素敵なレクリエーション企画書が出来上がりました。ファミリーで実行するのが楽しみです。

レクリエーションには、体や脳の機能を維持する目的だけではなく、気分転換を図り、楽しい気持ちになることで、日々の活力や生きがいにつながる効果があります。

講座で学んだことを今後に生かし、ファミリーでのレクリエーションに生かしたいと思います。貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。 K. O



春の壁面作り

朝礼が終わり、少しホッとしているご利用者の皆さんに
 「手伝ってほしいことがあります！」のスタッフの声。
 「え〜？何すんの？」という利用者さん。
 「何でもするで〜！」と張り切る利用者さん。
 「ん〜？」という顔をする利用者さん。皆それぞれ…



早速作業の説明をすると…

「これでええんか〜？」と確認をする利用者さんもいれば、
 無言で黙々とする利用者さん。
 何やかんや言うても人の手助けが大好きなご利用者の皆さん。
 素敵すぎる〜♡
 あっという間に時間は過ぎ…出来上がったのは沢山の桃の花。
 デイルームに飾って、暖かな春の訪れを待ちましょ〜♡

C. N

正しくマスクをつけましょう！

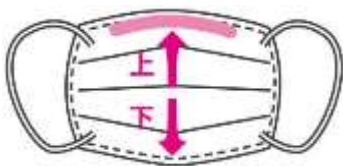


大阪府の新型コロナ対策のまん延防止等重点措置は解除されましたが、引き続き感染症対策がゆるむことの無いよう注意喚起されています。

会話時は必ずマスク着用し、短時間で声はひかえめにしましょう。今回は日々使っているマスクについて見直したいと思います。 N. I

<つけ方>

- ◆ マスクは、ノーズピース（ワイヤー部）は上部、プリーツが下向きになっている面は外側
- ◆ プリーツを上下に伸ばして、マスクを完全に広げる
- ◆ 顔にあて、ノーズピースを鼻の形に合わせ顎の下まで伸ばす
- ◆ 顔にフィットさせながら耳ひもをかける
- ◆ 鼻、頬、顎にすき間がないかを確認する



<外し方>

- ◆ マスクの表面をさわらないよう、ひもの部分を持つ

<その他>

- ◆ 素材は不織布が望ましい
- ◆ 自分に合ったサイズを使用する
- ◆ マスクの着用前や外した後は手洗いを
する
- ◆ 鼻出し、顎かけ、顎だしは効果があり
ません



「その一言」いい感じに伝わりますか？

コロナ禍ももう2年を過ぎました。気軽に笑顔でお話ができないというのはとてもつらいことですね。久しぶりに会えた顔なじみの方々とも、ぎこちない会話になりがちではないでしょうか？そんなときほど、相手にかける言葉には注意したいものですね。

ありがちなのが「連絡がなかったので、心配してたのよ」と何気なくいってしまったりしませんか？相手はちょっと連絡しなかった自分が不義理をしたような感覚を与えてしまうことも。むしろ「久しぶりに連絡が取れて安心した」と言った方が思いは伝わると思います。

再会から会話も弾み、苦労話も多くやり取りされると思います。その際、相手が自分より困難な状況であったとき、同情の気持ちもあり「それは大変やったね」「最悪やったね」とかいてしまいがちです。悪い言葉ではないのです。しかし、大きな困難があったときは言葉にしない苦労も多いものです。「大変」の一言ですべてをくぐるより、より相手が語ってくれた内容を具体的に「〇〇や△△・・・そんなことがあったのね」と返すと、まだ言い足りないことも切り出しやすくなります。

話終わりに「言ってくればよかったのに」というのは特に NG ですね。「力になれなかったのが残念、でも●●ならできるので必要な時は遠慮なく」というのがいいのではと思います。なにげない「一言」に気をつけて、これからもいいつながりをすすめていきたいものですね。

NPO 法人 介護支援の会松原ファミリー 理事
大阪芸術大学 教員
加納明彦

それ大変よね！
言ってくれば
よかったのに



デイハウス松原「ファミリー」施設長就任のご挨拶

この度、令和4年4月1日付で施設長に就任しました。桂 正子と申します。日頃より、当施設に対して、ご利用者をはじめご家族、ボランティアや地域の皆様等、多くの方々に温かいご支援ご協力を頂き、心から御礼申し上げます。コロナ禍になり3年目に入りました。まだまだ油断ができない状況です。感染対策を徹底しながらの運営になりますが、日々、各スタッフは、ご利用者の皆様に楽しんでいただけるよう工夫を凝らしながらプログラムを提供させていただいています。

ご利用者、ご家族様に笑顔で心穏やかに過ごしていただけますように、スタッフ一丸となって頑張る所存です。また各関係機関と連携を図り、しっかりとご支援させていただきますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

令和4年4月1日

デイハウス松原「ファミリー」
施設長 桂 正子



デイハウス松原「ファミリー」 運営推進会議を開催しました

<場所> 城連寺コミュニティセンター
<日時> 第17回 <2021年12月15日>
第18回 <2022年4月20日>

次回第19回は、
8月24日(水)
に開催の予定です。



ボランティア・学生の皆さんの 受け入れ再開について



松原ファミリーをいつも支えて下さっているボランティアの皆さん。お元気ですか。

昨年4月下旬、当事業所での新型コロナウイルス感染症のクラスター発生で、ご心配をおかけして以来1年が経過しました。

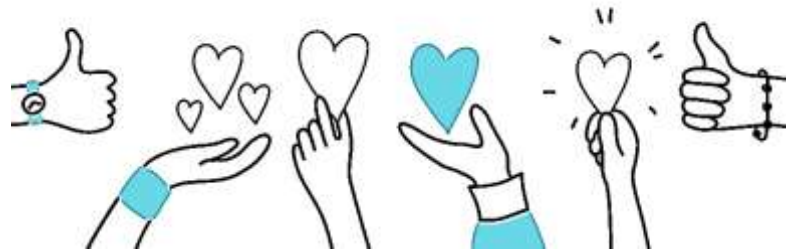
この間私たちは、感染対策委員会（昨年7月発足）で、様々な立場の委員の参加の元、感染対策を協議し、その方針に基づいてスタッフ一同頑張ってきました。

ボランティア・学生さんの参加について問い合わせも入ってきていますが、3回目のワクチン接種が普及し、少し下火になった状況の中でも、引き続き感染対策を緩めず、慎重に判断したいと考えています。4月27日の感染対策委員会では「マスク、消毒、参加時間、参加の形、当事業所への出入りの際の着替え、定期的な抗原検査やPCR検査等」スタッフ同様のことをボランティアさんに求めるには無理があると判断しました。

今後、ボランティア・学生の皆さんに、どう参加を再開していただけるのかを検討して、段階的に受け入れを緩和していく方針です。

まずは、数日に限られる学生さんへの実習受け入れ基準を設け、それを足掛かりに一般のボランティアの皆さん向けの基準作りをし、近い将来皆さんにも参加いただけることを願っています。

どうぞ、ファミリーのボランティア・学生の皆さんに参加受け入れの方針をご理解いただき、これからも松原ファミリーの活動を温かく見守っていただければ幸いです。
Y. H



菜の花と桜海老の混ぜご飯

緑が美しい季節になり、そろそろ田植えの時期ですね。

今回は、春野菜の中でも免疫力を高める効果が、期待されるという菜の花を使ったメニューをご紹介します。

○ 菜の花と桜海老の混ぜご飯 ○

- ① 菜の花は、塩を少し加えた熱湯で茹でた後、冷水に取り、1cm幅に切って水気を切る。
- ② ボウルに、菜の花、桜海老、しょうゆを加えて混ぜ合わせる。
- ③ ご飯に②と白胡麻を加えて、混ぜたら出来上がりです。

＜材料＞（2人分）

菜の花… 1/2束
桜海老… 8g
ご飯（温かいもの）… 400g
しょうゆ… 大さじ1
白胡麻… 大さじ1



現在ファミリーの昼食提供時の食器は、感染対策として、配膳時の接触回数を少なくする為、ワンプレートの食器を使用しています。

これからも感染予防対策をしっかりと行って、調理していきたいと思っております。
M. H

イベントのご案内

YouTube 配信による

2021年度 第2回

松原ファミリーコンサート

「日本のメロディーを、
マリンバと共に歌いましょう」

- ♪ お猿のかごや
- ♪ 荒城の月変奏曲
- ♪ どこかで春が
- ♪ 森の小人
- ♪ 美空ひばりメドレー 他

＜マリンバ演奏＞

高木至通
(ムジカ・ルドルフ
音楽教室代表)

＜ピアノ演奏＞

太田美和
(相愛大学音楽学部
ピアノ専攻卒業)



YouTube で配信する「松原ファミリーコンサート」
今回は、マリンバとピアノの美しい音色にあわせて歌
っていただけるよう、画像に歌詞も編集いたしました。
故郷の歌、思い出の歌、青春の歌を、ご自宅でご視聴
いただきお楽しみください。
ぜひ、チャンネル登録もお願いします！



退職しました

去年の12月で退職し、今は両親の介護に、今までの経験や知識を生かしてがんばっています。ファミリーでは、ご利用者やボランティアの方々、スタッフの皆様との関わりの中で、沢山の思い出と知識や経験を頂きました。特に、ご利用者の笑顔は、私の仕事をするモチベーションになり、10年以上も仕事を続けられたと思っており、たのしい時間を過ごせたことに、関わった皆様に感謝しています。

コロナ禍で色々な事が制限されていますが、早く終息し、以前の活気あるファミリーにと心より願っています。今まで本当にありがとうございました。 酒井 利江子

正会員のみなさまへ

第23回通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本年度も書面決議にすることといたしました。

6月初旬に、正会員の皆様提案事項を送付いたしますので、意思表示のご返送をお願いします。

ご不明な点がございましたら、事務局までお問合せください。よろしくお願ひ申し上げます。

NPO 法人
介護支援の会松原ファミリー
事務局 TEL 072-332-3120

賛助会員としてご協力ください

会員数 104 人 (2022年5月31日現在)

NPO法人の組織運営は会員制度を基本としています。私たちの趣旨をご理解・ご賛同いただき一人でも多くの方が加わって下さることを願っています。

ぜひ賛助会員としてご協力ください。ご入会をご希望の方は、事務局までご一報いただければ、入会申込書などをお送りいたします。

個人 年会費 1口 3,000円
団体・法人 年会費 1口 5,000円

＜郵便振替口座＞

口座番号: 00920-5-158490

加入者名: 特定非営利活動法人

介護支援の会松原ファミリー

編集後記

半年ぶりのニュース発行になりました。お読みいただいたように、ファミリーでは新しい取り組みが始まり、いろいろな事が変わりつつあります。『松原ファミリーニュース』も読みやすいものに変えていこうと考えています。また、デイの様子はホームページのブログでも紹介していますので、ぜひご覧になってください。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。 K, S

※写真掲載については、家族及び関係者等の了解をいただいています。